

## 青木ヶ原樹海山行報告（平成 30 年 5 月 12 日(土)）

平成 29 年 12 月の例会で提案されていた「青木ヶ原樹海散策」の実施が 5 月 12 日（土）と決定されて、リーダーは荻野さん、サブに伊藤さんとなった。(SL)伊藤さんから具体的な実施計画が示されて、各自の最も便利な場所に集合してよいと。グループ 1：バスタ新宿 6:30、グループ 2：渋谷マークシティ 6:30、グループ 3：河口湖駅直接： 9:00、最終集合地は河口湖駅前： 9:00 である。今回はゲストに中島さんの会社の若者 3 名（男性 1 名、女性 2 名）が加わり、全 13 名となった。

当日は快晴に恵まれ、新宿組は途中若干の遅れは出たものの、8 時 45 分に河口湖駅に到着した。また、鉄道組の天野さんは既に到着。さらになんと早坂さんが茅ヶ崎から駆け付けた。ところが渋谷組は、バスが東名高速道→御殿場→河口湖駅と走るのだが、高速に入るそうそう事故に遭遇してしまい、全く動かなくなってしまった。(L)荻野さんはいらいらして、バスの中で走りたい気分だったとか。

既到着組は渋谷組と携帯で連絡を取り合った結果、(SL)伊藤さんと早坂さんが後続隊を待つことにして、残り部隊は当初予定のバスを 30 分遅らせて先行することにした。即ち、遅れを取り戻すために、1 バス停先の“野鳥の森公園”で下車、後続隊は更に 1 つ先の“御殿庭”で合流しようという考えだ。

先行隊は野鳥の森公園で降りて、新緑の木々の後ろに聳える富士山を背景に写真を撮ってから、10 時 30 分に出発する。快晴でもうかなり気温が上がってきているが、富士山はくっきり見えている。今日は最後まで隠れることなく、富士山にお付き合いいただいた。11 時に“御殿庭”バス停に着き、数分後に後続隊のバスが到着して、全員合流した。長い別れの後に再会したような気分だ。

少しバス道に戻って樹海に入るが、その手前、道路沿いで真っ白の「銀龍草（ギンリョウソウ）」の花を見つけた。ラッキー！この花は日陰、湿っぽい所に咲く、葉緑素が無いために花も茎も真っ白い。樹海に入ると、勿論杉、桧、米杵などの針葉樹が主だが、意外とモミジ、馬酔木などの広葉樹も多い。木漏れ日が差してくるので割合明るい。地面は溶岩がごろごろで、苔むしているが土が少ないために、根が張れず倒木が多い。道は軽い登り勾配だが良く均されていて、しかも落ち葉で柔らかく歩き易い。インストラクターに導かれた 20 名位の団体が一組と、赤いジャージを着た高校生位の自然観察のグループに会っただけで、樹海の中を歩いている人は殆ど見かけなかった。

やはり、自殺伝説が尾を引いているため、幽霊に取りつかれるのではと、気持ちの良いものではない。歩道から外れて中に入り込み、溶岩の隙間に落ち込んだりしたら、見つからずにお陀仏になる可能性は十分にある。樹海から出たら背中に何か取りついていないか注意するか。

12 時丁度に富岳風穴の入口に到着。ここで 2 組に分かれ、主隊は風穴入口前のベンチなどに座って、休憩・昼食を摂った。液体燃料派 3 名は入口売店前のベンチに陣取り、褐色泡液体で栄養補給をしていた。風穴の中までは約 1.4km 位あり、30 分ほどかかるとのことで、結局中まで入ったのは若者 3 名だけだった。約 1 時間、しっかり燃料補給して、13 時に次の鳴沢氷穴へ向かう。

東海自然歩道を約 20 分歩いて、鳴沢氷穴に到着。ここでは 9 名の方が入洞した。入口でヘルメットをかぶらねばならないが、穴中に入って納得。“洞窟探検家”の気分だ。急な狭い階段で、約 100 段もあった。一番の問題は空間の高さが 90cm きり無い所があり、手を付いてようやく歩いた。頭をぶつけて 2~3 回ヘルメットを落っことした人もいた。地底には万年氷と称する 50cm 角くらいの氷塊が沢山積み重ねられていた。案内によると底部の気温は零度という。

13 時 50 分に鳴沢氷穴を出発する。ここが本日最高地点で海拔約 1040m だった。紅葉台へ向かって進み、紅葉台登山口から竜宮洞穴へ向かって一気に約 100m 下る。こうしてみると、わずかずつだが結構登っていたのだなと思った。14 時 27 分着の竜宮洞穴は中に小さなお社があるが、崩落の危険があるために外で見下ろすだけだった。

さあ、ラストスパート、西湖コウモリ穴バス停まで一目散。15 時丁度にバス停に着くと、丁度 15 時 4 分にバスが来る。バスには何とか座れたが、立つ人も多く満員で出発。15 時 45 分に河口湖駅に到着予定で、うまく 16 時 00 分発の「ホリデー快速」に接続しているが、渋滞のために 15 時 55 分に着いた。皆急いで駅に駆け込み電車に乗り込む。自由席はかなり埋まっていたが、幸い“全員”座ることができた。本日はまたもや、ところが、ところがで、中島組 4 名は忘れ物があり、探すために乗れず、次の 16 時 29 分発の普通電車になってしまった。

本隊は 17 時 25 分に八王子駅に着き、天野さんが予約していた「酒処 きずな」に 17 時 45 分に入る。今日は満員とかで、急な階段を登り 3 階の物置のような“ペントハウス”に案内された。まあ貸し切りでゆったりしていて、くつろげるのでよかったか。魚屋さんなので、刺身など魚料理は美味かった。中島グループは天野さんが迎えに行き、約 40 分遅れて合流した。若い人達は年寄連中と話が合わなくて気の毒だという声もあったが、皆さん結構和やかに話し合っていたようだ。

最後に“天野さんの顔”で、プロの魔術師が席に来て、トランプを主体にした魔術を見せてくれた。芸のコツはひとえに“練習”“だそうである。この人一席ウン万円とのことである。

20 時 45 分にお開きにして、八王子駅前流れ解散した。まだ飲み足りない顔の人もいたが。

青木ヶ原樹海の散策は、期待以上に楽しくまた面白かった。新緑の今の時期も良かったが、モミジの黄葉の時期も良いかもというご意見もあった。天候が悪く薄暗い時とか、一人二人の人数で歩く所ではないなという思いと、一方では 13 人という人数では、若干多いなという感じもした。樹海の中を歩くときは全員一致で良かったのだが、不可抗力とは云え、始めと終わりに分派行動が生じたから。

以上 陽田